

西神中だより

2025年 1月 382号
神戸市立西神中学校
神戸市西区竹の台5丁目21
TEL078-992-2700

『ほめる』ことと『叱る』こと

校長 芝 雅博

人は本能的に「人」のことを決めつけてしまう

それは「自己防衛本能」でありしかたがないところもある

しかし「人」は承認欲求があり 「人」は認められたい ほめられたい

子どもも大人もほめることで組織の関係性が変わり 人や組織として成果がでることが証明されている

「ほめる」とは 「人」「モノ」「起きる出来事」の価値を発見し伝えること

すぐ騒ぐ →活発だ 人見知り →感情豊かで繊細 わがまま →自分を持っている

落ち着かない →行動力がある あきっぽい →好奇心旺盛

「人」も見方を変えれば「短所」も「長所」 「変化・行動・努力・貢献」など具体的にほめる

弟のお世話してくれて 早起きを頑張っているね 手伝ってくれて助かったよ

「ありがとう」は魔法の言葉

「起こる出来事」もピンチはチャンス

やらされる → 前向きに受け止める

「事実」は変わらないが取り方によっては未来が変わる

「人」はほめられたら単純に嬉しい ほめられることは承認されること

「自己肯定感をもっている人は強い」

しかし ほめるだけでは「甘やかす」ことに ほめっ放しにせず「叱る」ことも大切である

「叱る」とは（成長してほしいという）使命感の愛

「ほめる」と「叱る」の目的は同じで

「ほめる・叱る」ことで「なってほしい姿」の基準を明確に伝えることである

してはいけない「叱り方」として

人格を否定しない 他人と比較しない 複数で叱らない

過去をもちだす叱りをしない 感情的にならない（怒らない）

親・教師には「願望達成」があり 「できるはず」「できないはずはない」と

感情が抑えられない場面もあるが 「仕方がない」など 現状を知ることが大事であり

「ほめられる」「叱られる」ことで 「次どうすればいいか考え」「次も頑張ろう」と思わせることが「ゴール」

今生きている誰もが経験したことのない時代を子どもたちは生きていく

そのためにも「自ら学び考え行動し 自分自身で生き抜く力」が子どもたちにとって大事であり

育てたい生徒像「夢を創り 自分を創り 社会を創る力」を共有するとともに

保護者・地域と共に「ほめる」「叱る」スキルを高め

子どもたちの心温まる「コミュニティースクール」を共に育てていければ幸いです

本年もよろしくお祈りします

生徒会執行部1年間の活動を終えて

「生徒会執行部の1年を終えて」

35代生徒会長

私たちは、35代生徒会執行部としてこの1年間活動してきました。パンジー大作戦では、種から自分たちで植えて育てたので、販売したときに地域の人に喜んでもらえたときは、この活動をしてよかったと思いました。また、全校協議会や体育会での生徒会演技、文化発表会での生徒会劇など、執行部が主体となっていく活動も多くありました。その活動は生徒の皆さん、先生方、保護者の皆さんに支えられて成功することができました。この1年間、私たちに協力していただいたみなさん、本当にありがとうございました。

表彰の記録

【特別支援学級】

令和6年度神戸市立中学校特別支援学級スポーツフェスタ 第1位 西ブロック

【美術】

第76回 兵庫県幼・小・中造形教育展 入選

令和6年度 第44回 兵庫県中学校総合文化祭 特選

令和6年度 第44回 兵庫県中学校総合文化祭 入選

【国語】

第73回神戸市中学校読書感想文コンクール 入選

第73回神戸市中学校読書感想文コンクール 奨励賞

第73回神戸市中学校読書感想文コンクール 努力賞



行事予定

行事予定は前月20日頃を目途に「すぐーる」で配信します。ホームページにも掲載しておりますので、ご確認になりたい場合は、こちらのQRコードから、本校ホームページにアクセスしてください。



https://www.kobe-ed.jp/sis-ms/ https://www.kobe-ed.jp/sis-ms/